

様式3 まとめ(自己評価および学校関係者評価)

坂戸市学校評価システム

令和2年度 桜中学校 学校評価 自己評価及び学校関係者評価

学校名	坂戸市立桜中学校
実施日	令和3年2月18日(木)

○「自己評価」及び「学校関係者評価委員評価」の欄には、A～Dを記入してください。

評価 A:よくできている B:概ねできている C:あまりできていない D:できていない

○「自己評価についての評価の説明及び学校の考え」の欄には、理由及び自己評価の結果をどのように受け止めているかを記入ください。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	学校関係者評価委員会の説明
組織・運営	1	学校は、特色ある学校づくりを目指し、組織的・計画的に取り組んでいる。	B	『朝鑑賞』を本校の誇れる取組として継続し、坂戸市で取り組んでいる『学び合い』の源となる資質を生徒の中に育てていく。この取組により、自尊感情や自己肯定感、自己有用感を高め、『学び合い』の実践により、『生きる力』へとつながる学力を身につけさせる。	A	<ul style="list-style-type: none"> 継続的な朝鑑賞の取組は、生徒の様々な能力の向上や人間関係の改善、教員の生徒理解にも繋がっている。 朝鑑賞の取組は大変に素晴らしいと思います。生徒一人一人が自分の意見を発表することで、自分の生き方等に自信を持つことになると考えられる。 コロナ禍の厳しい環境の中で9月からの『朝鑑賞』の再開および『学び合い』『グループ化』の推進を評価。 校長先生より『朝鑑賞』のお話を伺い、とても素敵な取組をなさっていることに感動いたしました。感性は人それぞれ違いますが、他人の意見や感じ方を学ぶことでより豊かに心が育っていかれることと思います。 桜中学校の素晴らしい感性を育成する取組だと思えます。
	2	学校は、災害、事故やトラブルに対して、組織的に迅速に対応している。	B	その日にあったことは担任に伝えるようにする。小さなことでも情報を発信しておく問題が起きそうな時などにすぐに対応できる。また、他学年で何かあった場合でも、学年関係なく動ける先生が動くようにしている。ここは本校の強みでもある。	A	<ul style="list-style-type: none"> 体育祭で必要なテントを貸し出した際の先生方の機敏かつ迅速な動きから、共通認識を持つ組織的な対応が感じられ、桜中の教員集団のまとまりが感じられた。 職員は若い人たちが多いようであるが、それ故に動きが早い、互いに情報を発信し、問題を共有して、様々な事柄に対処している。 教職員の平均年齢が若く、先生の動きがよいこと。および学年関係なく動くことを評価。 今年度は先生方の平均年齢がお若くなり、その分、すぐに動ける行動ができる先生方がいらしゃるのとても素晴らしいことだと思います。校長先生、教頭先生をはじめ、先生方の連携ができていらしゃるということはとても素晴らしいことと思います。 教職員同士や生徒たちとの日頃からの良好なコミュニケーションを感じます。また、PTAにも迅速な対応、相談、感謝しています。
	3	学校は、働き方改革を意識して、職員の勤務体制の改善を図っている。(共通項目)	C	努力はしているものの、なかなか働き方改革は目に見えた進展が見られない。国の指針では、勤務時間を除いた在校時間を、月45時間以内、年間360時間以内と打ち出した。本校は、教職員の働き改革へ向けた意識改革も踏まえて、具体的に次のことを検討していく。 ①学期に2度ほどは、全職員が計画的な年次休暇がとれるような計画表をつくり、推進していく。 ②生徒の安全を考慮して、日暮れに合わせた下校時刻の見直しを行っていく。 ③水曜日の『ノー残業デー』の継続と、授業時間を確保しながら生徒の下校時刻を早めることができる過程の見直し改革を行う。 ④校務分掌をさらに機能するよう、改善をはかる。	B	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の中、通常に比べ仕事量も増え、勤務管理も厳しい状況だと思うが、仕事及び組織の見直し、会議、行事の精選などを進めてほしい。 教員の仕事は多岐に渡ります。大変な部分もあるが、できるだけ改革を進めてほしいと思います。 コロナ禍の困難な状況の中で、『ノー残業デー』の設定促進および心身を壊した先生が一人もいなかったことを評価。 今年度は昨年度末より引き続きコロナ禍での授業をしてきたため、普段より余分なお仕事、作業等も増え、先生方はとても苦労されたことと思われます。その中で働き方改革として在校時間を短くするというのは、とても大変なことかもしれませんが、是非、少しでもお仕事をさる時間が減りますよう、願っております。 すべて子供たちのことを思っている長時間勤務だと思いますが、先生方には無理をせず改善できるようにしてもらいたいと思います。
教育課程・学習	4	教員は、学力向上に向け、児童生徒にわかりやすく、工夫した授業をしている。(市共通項目)	B	授業公開ウィークを積極的に設け、継続していくようにする。また、教職員が自由に授業訪問できる体制を構築する。そのために温かい雰囲気づくりをおこなう。 また、生徒の学力向上へ向けて、学力学習状況調査の結果や校内生徒アンケートの結果を、より詳しく教科部会で検討していく。	A	<ul style="list-style-type: none"> 習熟に応じた授業の展開や生徒一人ひとりに寄り添った丁寧な指導がなされている。 授業については常に工夫と改善を意識して、生徒に分かりやすい授業を展開してほしいと思います。 授業公開ウィークの積極的な設け、継続を評価。 生徒の学力向上のための各種取組を評価。 今年度は学校へ伺う機会がほとんどなく、授業の参観を2度ほどさせていただきましたが、授業に使用するプリント等、先生方がつくられたものを持ちいたり、問いかけやクイズ形式にしたりと興味をもって授業に参加できるよう、先生方はとてもご努力されていることを思いました。 授業を見させていただいた感じでは、楽しく、どのように考え興味を持たせようとする工夫・努力を感じました。学力向上へは引き続き検討していただきたいと思います。
	5	教員は、豊かな心を育む授業の充実を図っている。	B	道徳教育の充実を図る。また、道徳の授業でおこなったことを、学活や総合学習、学校行事等に関連付けて、深めていきたい。 また、道徳や朝鑑賞のみならず、全ての授業において学び合いでお互いの意見を尊重して聞くことが豊かな心を育むために大切である。今後、タブレットで画面共有ができるようになっていく。その際、生徒の様々な意見を拾い、お互いがお互いを認め尊重していけるような人間関係づくりのツールとしても有効に使用していきたい。また、学級文庫の充実もはかりたい。	A	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育をはじめとして、他の教科においても豊かな心を育む教育を展開してください。 道徳授業の充実を図ることは大変に重要であると思う。生徒に豊かな心を育ててほしいと思う。 今後のタブレット画面共有の授業展開に期待。道徳教育の充実化を評価。 前に述べた『朝鑑賞』の素晴らしい、道徳の授業の充実を図られたことで、生徒の心が豊かになっていることと思われます。前回伺った時より、後期の評議会でもった時の方が、生徒たちが挨拶もきちんと大きな声でしっかりとできていましたし、明るい表情の生徒が多かったように思われます。 先生方の話し方や話しかけやすそうな良い雰囲気を感じました。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	学校関係者評価委員会の説明
	6	児童生徒は、落ち着いた態度で生活し、授業に取り組んでいる。(市共通項目)	B	生徒はとでも落ち着いて生活し、全体としてしっかりと授業に取り組んでいる。また、挨拶も年々よくなってきている。今後も学校生活全般で、生徒たちと関わり、生徒の成長を支援していきたい。	A	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いた態度で授業に取り組んでおり、あいさつもしっかりしている。 生徒の落ち着いた生活、しっかりとした授業態度、および授業も年々良くなっていることを評価。 このコロナ禍で、子供たちにもかなりのストレスがあると思います。そのような中でも、校中の生徒はしっかりと授業に取り組み、素晴らしいことと思いつながら、参観させていただきました。 落ち着いて生活ができています。一番感心したのは、あいさつです。遠くからでも気づくと会釈をする、すれ違いざまに大きな声であいさつをしてくれました。心が落ち着いていないとできないことだと思います。
資質の向上	7	学校は、体罰や交通事故等の教職員事故や不祥事根絶のために意欲的に取り組んでいる。(市共通項目)	B	教職員不祥事を起こさない環境づくりを教職員全員で取り組み構築していく。その為に、『認め合っていく職員環境づくり』を全員で意識していく。 今年度はコロナのこともあり、職員会議や職員研修等で、一斉形式や講義形式での教職員不祥事根絶研修へと偏ってしまったが、次年度はコロナの様子を踏まえながら、ワークショップ形式の不祥事根絶研修や倫理確立研修などの実践を増やしていきたい。	A	<ul style="list-style-type: none"> 教職員が互いの変化に気づけるような環境づくりにとりにくんでほしい。 不祥事を許さない、起こさせないという教員同士の取組は大変に重要である。積極的に取組を期待したい。 コロナ禍の影響で、グループでの研修ができなかったことが残念。今後、各種研修の実践に期待。 校中の先生方は団結していらっしゃるので、全く問題がないと思います。 教職員の子供たちの手本となる人材が揃っている。不祥事根絶のために引き続き会議、研修等で取り組んでいただきたい。
	8	本校の教員は、児童生徒一人一人を認め大切に接している。	B	引き続き生徒一人一人を見守っていく。また、生徒と関わっていく上で、職員一人だけの指導、支援で終わらせるのではなく、職員集団がチームとして生徒を指導、支援していけるように努める。	A	<ul style="list-style-type: none"> 教育活動全般において、生徒との関わりを大切に、丁寧な指導をお願いしたい。 職員がチームとして生徒への指導・支援をする。簡単なようでも難しいが頑張っていたらいい。 先生方の生徒一人一人の見守りを評価。今後のチームとしての指導支援に期待。 校中は校長先生、教頭先生をはじめ、先生方がクラス、学年、部活動等、担任、担当する生徒だけでなくすべての生徒たちに目を配ってくださっているため、今後も今のまま生徒たちを見守り、指導していただけたらと思います。 組織、運営のNo.2にも見られるように、学年関係なく動ける先生がいるということが生徒にとっても大切であり、安心して生活しているように見られました。
学習環境	9	学校は、特別支援教育体制の充実を図っている。	B	意識は上がっているが、まだ改善点もある。棚を隠す前面のカーテンは、生徒が授業に集中できる環境づくりに好影響を与えている。さらに職員会議でユニバーサルデザイン等の意識づけを行ってきたい。 また、今年度はコロナウイルスの影響で研修が行いにくい実態があったが、今後、特別支援教育についての校内研修の内容も充実させていきたい。	B	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に研修を行い、教員間でしっかり情報共有を進め、個に応じた指導・支援に努めてほしい。 特別支援教育の意識が上がってきていることに評価。また、授業中の授業集中のみの環境整備を評価。 特別支援学級の先生方はとても明るく元気で前向きな考え方をなさる先生方なので、とても素晴らしいことと思います。生徒たちを思い、教室環境づくり(改善)されたことに感動いたしました。 よくわからないのですが、カーテンでの集中力を高める案には感心しました。この項目に関しては、完璧にできているというゴールはないと思います。一つ一つ改善していく意欲と努力に期待しています。
	10	学校は、安心安全で機能的な教育環境整備に努めている。	B	今後も安全点検をしっかりと行っていく。生徒に安心安全な教室環境および校内環境を保持していく。安全点検の担当場所に修繕の必要があれば、まず担当者→安全担当→教頭先生の段階を踏んで修繕をおこなう。気づいた箇所は自ら積極的に直す。	A	<ul style="list-style-type: none"> 感染症への対策をはじめとして、安心安全な環境整備がなされている。 気づいた修繕が必要な箇所は、すぐに直す。難しいことですが、積極的にお願いします。 安全な教育環境および校内環境保持を評価。気づいた人が自ら積極的に修繕する実践に評価。 安全な環境づくりのために、まずは気づいた先生方から始めるという点は、生徒たちにも同じことが言えると思いますので、とても素晴らしいことと思います。これからもこのような形で先生がお手本になってくださることをお願いいたします。 安全な校内環境であると思います。
家庭・地域との連携	11	学校は開かれた学校づくりを目指し、家庭・地域社会に積極的に情報提供を行っている。(市共通項目)	B	学校だより、学年だより、学級だより等は、紙ベースで積極的に発信できた。しかし、今年度は学校ホームページの更新がうまくできなかった部分もあり、今後は、月に一度、学校だよりを主としてホームページにアップする。その他には、大会結果や行事の様子などの情報も発信したい。	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校HPなどにより、一層の情報発信に努めてほしい。 時間の許す限り、学校のHPは速やかに更新することが大切だと思います。 学校だより、学年だより、学級だよりの積極的な発信を評価。今後のホームページの改善に期待。 学校だよりはいつも楽しみにしております。校長先生のお話や生徒たちの様子、学校の予定等がよくわかり、拝見するのがとても嬉しいです。先生方もお忙しいと思いますが、今後はホームページ等をさらに充実したものにしていっていただけたらと思います。 情報提供できていると思います。
	12	学校は、積極的に地域の人材を教育活動に活用し、家庭・地域と連携し子ども問題解決を図っている。	B	本校の学校運営を支援していただくため、学校応援団等、地域の人材に支援していただく機会をあらかじめ予定していたのだが、コロナの影響でことごとく行事等が中止になり、せっかくの機会が流れてしまったのが残念。しかし、今年度、特学の授業サポートは大変助かった。来年度も継続していきたい。学校応援団の方々との連絡体制の充実を図ってきたい。	A	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人材や上級学校等との交流などの活用により、より一層の教育活動の充実を図ってほしい。 コロナの影響で、ことごとく行事等が流れたことに残念。今後の学校応援団との連携に期待。 今年度はコロナの影響で学校応援団の協力が全くできなかったこと、とても残念に思います。また、行事等も中止、縮小等で、地域の方々に見ていただく機会もなかったため、来年度は少しでもより良い世の中に変わっていつてもらえることを心から願っております。 コロナ影響で中止になってしまったが、学校からの支援や要請を待っている地域の方や応援団がいる。それも学校との良好な関係があるものと思えます。
小中一貫教育	13	学校は、小中一貫教育の視点にたった教育活動を推進している。(市共通項目)	B	今年度はコロナウイルスの影響により対面での連携が厳しかった。コロナの影響もまだ続きそうなので、ZOOMで体験授業を行うことも検討した方がよいのではないかと、それに伴い、Zoomの研修を行うとともに、学校のコンピューター、サーバーがZOOM等に耐えられる強固なものとなるよう改善を希望する。	A	<ul style="list-style-type: none"> 小中の教員による研修の実施や連絡会などにより、一層の連携を図り、それぞれの課題の認識、改善等、情報共有を進めてほしい。 コロナの影響で、他校との連携が困難であったことが残念。今後ZOOM等での授業展開に期待。 今までは小中の連携があり、交流できる生徒、児童たちもとても楽しみな時間があったと思いますが、今年度はコロナ禍で、それもまいかなかったことと思われます。小学生もパソコンを使う授業等ありますので、『ZOOM』の活用も素晴らしいことだと思います。 香料機械等を増やし、研修等やるのは良いと思います。小学校との連携もされているようです。引き続き希望します。